

地球環境とともに

基本的な考え方

京王グループは「環境にやさしく」という「京王グループ理念」に基づき、2004(平16)年に「京王グループ環境基本方針」を、2010(平22)年に「生物多様性行動指針」を定め、環境保全活動の推進のため、環境マネジメントに取り組んでいます。

低炭素社会を目指して

省エネルギー化への取り組み



ハイブリッドバス



ハイブリッドタクシー

京王電鉄バスグループでは、ハイブリッドバスやヘッドライト等をLED化した車両を導入しています。また、西東京バスではハイブリッドバスの導入や電気バスの受託運行、京王自動車ではハイブリッドタクシーやアイドリングストップ機能付きタクシーを導入するなど、省エネルギー化に取り組んでいます。

太陽光発電



相模原市の発電設備

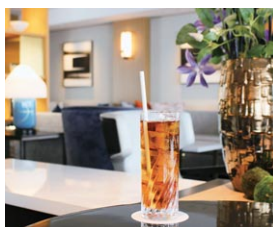
京王グループでは、再生可能エネルギーの活用に積極的に取り組んでいます。2015(平27)年には、相模原市の所有地において、太陽光発電事業を開始しました。

循環型社会を目指して

海洋プラスチックゴミ問題への対応

京王プラザホテルチェーンでは年間約43万本使用していたプラスチックストローを、2018(平30)年12月より新宿・多摩・八王子・札幌の4つのチェーンホテルで原則廃止し、紙製ストローへ移行しました。

その他、京王百貨店および京王ストアでは、お客様にマイバッグの持参を呼びかけています。



紙ストロー

地球環境とともに

車両の他社譲渡



京王線旧5000系(富士急行株式会社)

京王線・井の頭線で活躍していた車両が、色やデザインを変え現在でも全国各地の鉄道で運行されています。

自然共生社会を目指して

京王クリーンキャンペーン



地域の貴重な自然環境の保全を目的に清掃を行う「京王クリーンキャンペーン」を、1991(平3)年から継続的に実施しています。グループ各社の社員をはじめ、一般の方にも多数ご参加いただいています。

「高尾の森再生」ボランティア活動支援

日本山岳会「高尾の森づくりの会」は、裏高尾の小下沢風景林をフィールドに、50年、100年の計画で、花粉の少ない森、多様で豊かな森の復元を目指してボランティア活動を続けています。京王電鉄は、この会の趣旨に賛同し、2002(平14)年から2015(平27)年まで広葉樹の植樹用苗木約17,000本を提供するとともに、2016(平28)年からは、間伐作業などの育樹活動のお手伝いをしています。

高尾の森 親子森林体験スクール



2008(平20)年から「高尾の森 親子森林体験スクール」を、日本山岳会「高尾の森づくりの会」との共催で開催しています。裏高尾の小下沢風景林をフィールドとした森林作業や自然観察などを通して自然の大切さを学ぶことができます。